

テーマ3 インターネット×いじめ

本テーマは道徳の授業での使用を想定しています。そのため、4 補足講義内での質問に対する回答はありません。

子どもたちのインターネット・スマートフォン利用の実態もふまえながら、インターネットいじめについて考えてみてください。

◆ 説明を加える部分 ♣ 生徒に発問する部分

時間	全体の動きと学習内容	指導上のポイント	PPT	PPT 内容	PPT 内容補足
1 min	1 事前説明		P2	ドラマ導入	
	□インターネットを介したいじめ についてのドラマを見せること を説明				
12 min	2 ドラマ視聴	□登場人物たちの気持ちを考えながら見るように促す。			
4 min	3 ドラマの振り返り	□ドラマの内容について簡単におさらいをする。	P3	ドラマの振り返り	◆ 以下の説明を参考に、ドラマについて振り返りを行う。
			P4	Cap1	真ん中が主人公の瞳（ひとみ）、両脇の友達 は右が ありさ、左が えみ でした。
			P5	Cap2	別の日、瞳が友達のみゆきに話しかけると無視されます。瞳はありさやえみに相談しますが、 気のせいだから気にしない方がいいと言われます。
			P6	cap3	しかし、次の日も瞳はみゆきに無視されている様子でした。また、この日はいつも一緒に帰っ ているありさもいませんでした。
			P7	Cap4	その日の夜、瞳のもとに「さすがにこれはひどいよ」というメールと、ひとつの URL が送られ てきます。確認すると、そこには瞳がまったく身に覚えのない、「ありさが着いてきてうざい」 という内容の書き込みがありました。
			P8	Cap5	翌日、ありさのもとに向かう瞳ですが、弁解する余地もなく無視されてしまいます。
			P9	Cap6	さらに、瞳のもとには「死ね」など悪意ある書き込みが連続で届きます。廊下でも心ない言葉 をかけられてます。周囲からのいじめを受けた瞳は学校に行くのが嫌になってしまいました。
			P10	Cap7	一方、ありさにも「瞳を追い込んだ」「瞳が自殺するかも」などクラスメートからの中傷が浴び せかけられ、ありさが倒れてしまったところでドラマは終了します。

4 補足講義 □道徳的な観点で、登場人物の心情や問題点について考えさせる □いじめの加害者にならないためにはどうすればいいか説明する	□ありさが倒れた原因について考えさせ、発表、またはグループでの話し合いをさせる。(正解・不正解はないので、生徒が思っていることを聞き出す) □瞳が学校に行けなくなった原因について考えさせ、発表、またはグループでの話し合いをさせる。(正解・不正解はないので、生徒が思っていることを聞き出す) □どうすれば瞳やありさはこのようにならずにすんだのか、発表、またはグループでの話し合いをさせる。(正解・不正解はないので、生徒が思っていることを聞き出す) □ネットいじめの特徴を説明する。 □ネットいじめを生まないために、気をつける事を説明する。 □悪質な書き込みを行った場合には、匿名であってもプロバイダから個人が特定できること、罪に問われることを説明する。	P11	ありさはなぜ倒れてしまったのか？	♣ ありさはなぜ倒れたのか、ありさのとった行動やそのときの気持ち、周囲の行動など様々な面から生徒に意見を出させる。
		P12	瞳はなぜ学校に行くのが嫌になったのか？	♣ 瞳はなぜ学校に行くのが嫌になってしまったのか、瞳の置かれた状況やそのときの気持ち、周囲の行動など様々な面から生徒に意見を出させる。
		P13	どうすれば瞳やありさはこのようにならずにすんだのか？	♣ どうすれば瞳やありさはこのようにならなかったのか、生徒に意見を出させる。(生徒の意見は黒板に書き出す)
		P14	ネットいじめの特徴	◆ ネットいじめの特徴について説明する。安易に書き込んだとしても、加害者になってしまうかもしれないという点を強調して説明する。
		P15	ネットいじめを生まないために	◆ 自分がネットいじめの加害者とならないために必要な心構えや、してはいけない行動について説明する
		P16	悪質な書き込みを行った場合には	◆ プロバイダ責任制限法により、書き込んだ人の情報を開示させることができること、場合によっては罪に問われることもあることを説明して、生徒に悪質な書き込みをしないよう警告する。